

本学科の卒研究生が日本医用画像工学会主催の 2016 年度医用画像処理コンテストで大会賞を受賞しました

7月21～23日に千葉大学で開催された日本医用画像工学会主催の2016年度医用画像処理コンテスト（通称 CAD コンテスト）において本学科武尾研究室の卒研究生4名（中村 友弥さん、石田 勝さん、三枝 駿介さん、佐野 天人さん）が優勝し、大会賞を受賞しました。CAD（計算機診断支援）処理における長年の悩みは、対象とする画像サンプルが圧倒的に少ないことです。そこで、手元にある実際の疾病サンプルから擬似的な疾病サンプルを生成することができれば、またそれが実物と遜色のないものであれば、この悩みを解決する大きな手助けになると考えられます。「3次元腹部 CT 画像への肝腫瘍の埋め込み」というテーマで全国から集まった大学や研究機関のチームの中、それぞれが開発した埋め込み処理によりその出来栄を競いました。そして、6人の専門医による審査の結果、1位を獲得することができました。2年前にも本研究室の大学院生が受賞しており、2年ぶり2回目の優勝を果たしましたが昨年は3位に終わり、そのリベンジをすることができました。また、今回がこの大会の最終回ということで有終の美を達成でき大変嬉しく思っています。今後はこの技術の応用をはかり、実際の CAD システムに役に立つように目指していきます。写真は、審査委員長、学会長、学会の大会長と一緒に撮った授賞式後の記念撮影です（左側4名が受賞した卒研究生です）。



E 科武尾英哉